

第 179 回ペン川柳（お題＝酒）平成 31 年 3 月 22 日

世話人代行：塚田 實（^だ々）

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 欠番

2. 酒盛りの積り蹴られて帰路闇へ（井波＝稲宮）→ 0 票

第 2 回米朝会談を終えた金さんの心中を詠ったとのことですが、意中の女性を酒で落とそうと企んだのに相手にされなかった男の暗澹たる気持ちを詠ったのだとばかり……。 「積り（心算？）」を「筈が」とすれば語呂がよさそう。

3. 酒呑むな呑み会不義理引きこもれ（安兵衛＝山縣）→ 0 票

「たとえ不義理と言われようとも呑み会なんぞ断って、家に引きこもりなさい」とは医者のお忠告か、はたまた山の神のお達しか。上五と下五を入れ替えて「引きこもれ呑み会不義理酒呑むな」のほうがスッキリしますね。

4. 一人酒猫を相手に愚痴こぼし（不言＝岩崎）→ 2 票

いかにもありそうな光景、目に見えるようです。猫がいてくれるだけまだマシでしょう。鏡に向かって愚痴をこぼし始めたらいいよアブナイ。

5. 酒の上新ルールでは百十番（晃二＝安藤）→ 2 票

酒の席での痴態やセクハラは、ひと昔前なら大目に見てもらえましたが、近頃そうは問屋が卸しません。もっとも、セクハラは相手の受け取り方次第、つまり貴方に魅力があるかどうかで、笑って済ませてもらえることもあれば警察を呼ばれることもあるってこと。よく覚えておきましょうね！！

* 6. 酒飲めぬ師匠高座で大虎に（明迷＝八木）→ 4 票

これは笑えますね。高座で大虎を演じている師匠の姿が目には浮かぶようです。「酒飲めぬ」と酒を逆手にとる発想が素晴らしい！ 統計によると、酒の癖を聴いた客は居酒屋に吸い込まれる率が高いとか……（どこの統計？）

* 7. 身を削る度合いで決まる吟醸酒（損得＝細谷）→ 4 票

吟醸酒は精米の度合いに応じてランクが決まり、身を削れば削るほど高級になるそうです。その雰囲気は良く出ていますね。人間も身を削って磨きをかけたいものです。今月の最優秀句に選ばれました。

8. 古希過ぎた色恋よりも友と酒（^だ々＝塚田）→ 2 票

分かりますが、ちょっと寂しい気がしますね。色恋に年齢制限なし。深みのある恋もよろしいかと。「古希過ぎた」よりも「古希過ぎて」の方が良いでしょうとのことでした。

9. 酒癖を試すつもり夫婦酒（酔深＝平尾）→ 1 票

酒癖を試すつもりとありますが、酒癖は結婚前にとくにチェック済みだろうとの意見多し。いずれにしても、試されているのは夫の酒癖です。

10. 水鳥 (すいちょう) は悲しかりけりまた値上げ (明迷=八木) → 0 票
これを見て、場の誰もすぐには理解できませんでした。作者に確認すると若山牧水の「白鳥は悲しからずや…」のパロディだそうです。「酒」を偏と旁に分ければ、「ヰ (みず)」と「酉 (とり)」となり、そこから「水鳥」を思いついたそうです。お題の「酒」がなかったことから、評価が集まりませんでした。因みに宮城県気仙沼に「水鳥記」という酒があります。Amazon で 2970 円 (1800ml) 、値上げ後でしょうか？
11. 天国は蛇口を捻ると酒が出る (損得=細谷) → 4 票
皆の夢ですね。そうであれば喜んで天国に行けますね。「を」をとると五七五で素直に詠めるとの評でした。損得さんは投句 2 つとも 4 票を獲得しました。絶好調！
12. 無礼講信じて舌禍呑まれ酒 (晃二=安藤) → 2 票
サラリーマンにはよくありそうですね。これで出世に障ったという人を何人も見てきました。「呑まれ酒」にもう一工夫欲しいところ。「恨み酒」はいかが？ 演歌になってしまいますかね？
13. 呑兵衛の締め熱燗酒茶漬 (酔深=平尾) → 0 票
酒のメに熱燗茶漬けとは、本当に呑兵衛ですね。「鮭茶漬け」でなくて「酒茶漬け」とは作者の呑兵衛ぶりが伝わってきます。「締め」は「メ」の方が良いのではと席上指摘がありました。
14. 酒ありて春夏秋冬いつも芳し (安兵衛=山縣) → 0 票
なかなか含蓄のある句ですが、川柳というよりは俳句かとの席上評価。酒を一年中楽しめるのは幸せですね。春は桜の下で、夏はキンキンに冷やして、秋は月を愛でつつ、そして冬は雪見酒、ああ日本に生まれて良かった！
- * 15. 樽酒をちびちび飲んで賞味切れ (酔雅=西川) → 3 票
賞味切れするほどだから、樽酒はミニじゃなくてももう少し大きな樽だったんでしょうね。ちびちび飲む姿が目浮かぶようです。でも一人酒は寂しそうですね。この次は賞味期限切れになる前にご相伴にあずかりたいものです。
16. 失敗が懐かしくなる酒の席 (だし=大野) → 2 票
これもサラリーマンにはよくある話ですね。振り返ってみれば懐かしい。「失敗が」よりも「失敗も」の方がより良くなるとの評。
17. 迎え酒ちょっとやりすぎお迎えが…… (酔雅=西川) → 2 票
飲みすぎて天国からのお迎えが来てしまったということでしょうか。お互い飲みすぎには気を付けましょう。もっとも、酒好きの作者にはそれこそ本望？
18. 安酒を銘酒の瓶に移し替え (火酒=三春) → 1 票
これもありますね。要するに呑兵衛は味よりもブランドで飲む人が多いことを揶揄しているのでしょうか。ブランド志向の人に飲ませたら「さすがに高級酒は旨い！」なんて言いそうです。移し替えるのは作者自身でないと信じています。
19. 川柳酒他なる美酒によろめいて (素っ頓狂=内藤) → 0 票
素っ頓狂さんのお別れの句です。俳句でも頑張っておられるようです。川柳会は一休み。

- * 20. 二日酔い迎え酒して三日酔い (拿々=塚田) → 3票
この句は22番の句と「して」と「効き」の2文字違いだけでした。全くの偶然です。票が割れると思われましたが、「して」が川柳らしいと選んでいただきました。
- * 21. 「酒ハラ」と言いたいほどに宴乱れ (不言=岩崎) → 3票
最近流行りのハラスメントもの。どこまで乱れたのか心配になりますね。そのドキドキ感で票が入りました。
- 22. 二日酔い迎え酒効き三日酔い (零門=松谷) → 0票
十七文字で二字だけ異なるという偶然が過去あったのでしょうか。驚きました。
- 23. 岩破片地球に戻りゃ祝い酒 (井波=稲宮) → 2票
井波さんの科学ものですね。「はやぶさ2」のことでしょうか。無事帰還すれば祝い酒どころか、科学上の大成果です。
- 24. 溺れるな酒と女は二合まで (火酒=三春) → 2票
二合の掛け具合が絶妙ですね。二合と二号。女の二号は良いとしても、酒の二合はちょっと物足りない気がします。もっと票が入っても良い句です。皆さん川柳そっこのので、「二号までは許容範囲?」「イスラム教では四号までだ」「経済力がねえ…」「そういえばうちの親父の二号さんが……」などと盛り上がりました。
- 25. 三拍子揃った報い禁酒令 (だし=大野) → 1票
「飲む打つ買う」の三拍子では、奥様から禁酒令がでるでしょう。でも昔はこれを謳歌していた人が沢山いたようです。男の道楽ここに極まれり、カッコイイですねえ、羨ましいですねえ。
- 26. デザートに妻はケーキでオレ麦酒 (零門=松谷) → 0票
「取り敢えずビール」というように、ビールは最初に飲むことが多いので、デザートに「麦酒」はちょっと違和感があるとのことでした。せめて「梅酒」ではどうかとの意見もありました。

出席8名 = 西川武彦(酔雅)、稲宮健一(井波)、山縣正靖(安兵衛)、平尾富男(酔深)、
安藤晃二(晃二)、大野ただし(だし)、三春(火酒)、塚田實(拿々)

欠席投句5名 = 八木信男(明迷)、細谷博(損得)、松谷隆(零門)、岩崎洋一郎(不言)、
内藤真理子(素っ頓狂)

欠席投句なし1名 = 浜田道雄(我々好)

◇ 4月から数か月間、世話人の平尾さん(酔深)が日本を脱出することとなり、塚田(拿々)が代行することとなりました。皆さんお手柔らかにお願いします。

◇ 素っ頓狂(内藤真理子)さんが、ペン俳句に移籍することになりました。才気溢れる真理子さんの更なる活躍を暖かく見守りましょう!

◇ 4月以降の日程とお題は以下の通りです。

4月26日(金)「隠す」 5月24日(金)「金(きん・かね)」 6月21日(金)「株」
7月26日(金)「下がる・下げる」 8月23日(金)「汗」 9月20日(金)「稲」